

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/04/08号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

中東情勢緊迫化で上値追い、ブレントは90ドル

NY原油先物相場は、1バレル=86ドル台後半まで値上がりし、昨年10月23日以来の高値を更新する展開になった。引き続き供給不安が強く、85ドルの節目も上抜いた。ブレント原油は90ドルの節目も突破している。イスラエルとイランとの間で軍事衝突が発生するリスクが高まっている。また、ウクライナはロシア石油施設に対するドローン攻撃を繰り返しており、ロシア産石油製品供給に対する警戒感も強い。4月3日に開催された石油輸出国機構（OPEC）プラスの合同閣僚監視委員会（JMMC）において、4～6月期も自主減産を継続する方針を再確認したこともポジティブ。

4月1日にシリアのイラン大使館がイスラエル軍の攻撃を受け、イラン革命防衛隊幹部を含む死者が発生した。イランのライシ大統領は報復を宣言しており、イスラエルとイランが交戦状態に陥る可能性が警戒されている。今後どのような展開になるのか見通しが立たないが、イラン産原油のみならず周辺地域からの原油供給にも混乱が生じるリスクが浮上している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（3月29日時点）は、原油が前週比321万バレル増、ガソリンが426万バレル減、石油精製品が127万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

供給不安が更に高まる、90ドル試す可能性も

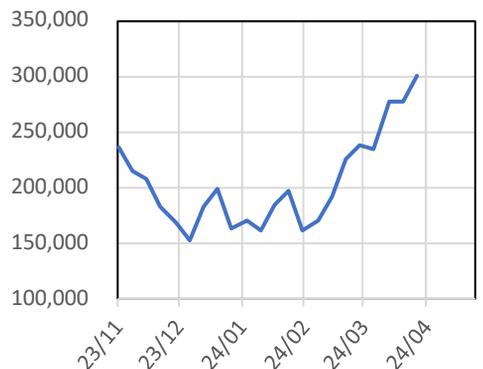
原油供給不安が広がりを見せており、底固い展開が続きやすい。4月に入ってからイスラエルとイランの軍事衝突の可能性が急浮上している。イランがイスラエルに対して何等かの「報復」を行うのは確実であり、それを受けて供給不安が更に広がるか否かが焦点になる。仮にイスラエルとイランの間で大規模な軍事衝突が発生すると、一気に90ドルを突破する可能性もある。一方、両国が緊張状態がエスカレートすることを回避するために自制を見せると、高値持ち合い相場に留まる可能性が高い。

また、ロシア産の供給不安も根強い。ロシア石油施設は3月以降に繰り返しウクライナ軍のドローン攻撃を受けており、原油処理能力が損なわれている。今後数週間は日量30万～40万バレル規模の石油製品供給が滞る見通しにある。ロシア産の供給難を受けて、ガソリンやディーゼルの国際需給が歪むリスクが高まっているが、新たな被害が報告されると買い安心感が強まろう。

4月11日には石油輸出国機構（OPEC）、12日には国際エネルギー機関（IEA）が月報を公表する。IEAは3月月報において従来の2024年の供給過剰見通しを取り下げ、若干の供給不足になる見通しを示した。今月も一段と強いトーンで需給の引き締め見通しが示されると、買い安心感が強まろう。

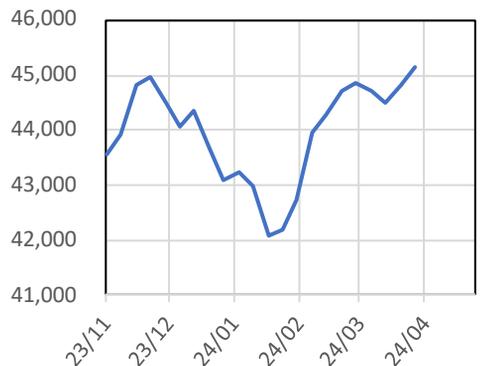
一方、大統領選を控えたバイデン米政権は最近の原油高（ガソリン高）に警戒を強めており、原油価格鎮静化に向けて徐々に働き掛けを強化する見通し。米国のシェールオイルの生産活動が活発化しやすい一方、世界経済の減速懸念が強化されることはネガティブ。原油価格高騰が、需給見通しにどのような変化をもたらすのかに注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

